

都市構造再編集中支援事業を活用した名張かわまちづくり計画について

1. 事業の経緯

名張川と宇陀川との合流地点において現在実施している「名張かわまちづくり一体型浸水対策事業（I期）」によって新たに創出される河川親水空間と、隣接するエリア（まちなかエリア）の歴史、文化、自然等の地域資源との相乗効果により、地域の活性化、賑わい創出、観光振興を一体的に推進するため、名張川及び宇陀川の背後地を地域振興拠点エリアとして位置付け、公園の整備を検討しています。

また、それに併せて、堤防と一体整備される災害対策用の堤（第二種側帯）を利用し、休憩施設等の賑わいを創出するため、まとまりのある空間を生み出すことにより、市内外を問わず多くの来訪者が集うことができるエリア（かわまちエリア）の整備の検討を進めているところです。

今回、上記の「まちなかエリア」と「かわまちエリア」の一体的な整備を進める財源として、国の補助事業である「都市構造再編集中支援事業」に申請し、この度採択の内示がありました。

これまで、名張かわまちづくり協議会をはじめ、同協議会の実行部会、空間デザイン意見交換会、庁内で組織する名張かわまちづくり基本方針策定委員会、市民ニーズ調査、観光協会へのアンケート、子育て世帯へのアンケート、ワークショップの取組などにより、多くの意見や提案をいただきました。

これらの意見や提案を基に「まちなかエリア」は、まちなか案内板や登録有形文化財の案内表示、ひやわい誘導標の設置のほか、歩行帯の整備、東屋やベンチなどの休憩施設の設置等のハード面の整備と併せて、新たにまちなか散策マップを作成し、回遊性の向上を図ることとします。

「かわまちエリア」については、名張川及び宇陀川の背後地では駐車場、トイレ、多目的広場、遊具等を設置した公園の整備、黒田橋と黒田大橋を結ぶ市道の拡幅整備を計画しており、第二種側帯では桜並木とキッチンカースペースの整備、公園内にまちなか案内板の設置、高水敷広場では地被植物の吹付けを行い、河川敷自由広場として開放することを考えています。

2. 事業の計画

計 画 名：都市再生整備計画 名張地区（名張駅周辺エリア）

目 的：名張駅西周辺と名張川親水空間とを結ぶ地域資源が豊かな初瀬街道を活用し、

「名張の原風景と人情が息づく魅力あるまち」の再生を図ることを目的として、主に次の事項に取り組みます。

- (1) 誇りある歴史資源の活用と、新たな掘り起こし資源による魅力を発信し、まちなかの回遊性向上を図ります。
- (2) 親水公園等の交流拠点整備により市内外から多くの来訪者を招き、高い賑わいのあるまちづくりを推進します。
- (3) 官民一体となった魅力ある滞留空間を創出し、賑わいのある歩行者空間を創出します。
- (4) 魅力あるまちづくりにより、地元居住の継続、市外からの移住者等の居住誘導を図ります。

計画期間：令和7年度から令和11年度までの5か年計画

整備区域：161.0ヘクタール

総事業費：532,000千円（うち、国庫補助金242,050千円）

5か年の計画において、令和7年度は地域振興拠点の用地買収、令和8年度は地域振興拠点及び周辺道路の測量設計業務、令和9年度から令和11年度までは「まちなかエリア」及び「かわまちエリア」の整備を予定しています。